

**Parkinson's Disease Clinic and Research Center**  
**University of California, San Francisco**  
**505 Parnassus Ave., Rm. 795-M, Box 0114**  
**San Francisco, CA 94143-0114**  
**(415) 476-9276**  
**<http://pdcenter.neurology.ucsf.edu>**



## **What is Parkinson's Disease? (Japanese)**

### **パーキンソン病とは？**

パーキンソニズムとは、次の一群の症状および徴候に与えられた名称です。

震え

筋肉のこわばり

運動の緩慢さ

不安定な歩行

多くの神経障害はパーキンソニズに類似した特徴を示します。上記以外の神経異常をまったく示すことなくパーキンソニズムが現れ、しかもその原因がはっきり認められない場合、その障害はパーキンソン病と呼ばれます。この病名は、1817年に世界で初めてパーキンソン病を認め、それを詳しく論文にまとめた英国の医師の名前に由来するものです。上記の症状が見られる場合、神経専門医による評価が下記のような幾つかの理由で重要です。

#### 1)類似したその他の障害からパーキンソニズムを区別するため

例えば、震えには幾つもの原因があり、震え自体、幾つもの異なる特徴を示すことがあります。ある患者さんの震えが、パーキンソン病で起きるとされる震えのすべての特徴を示し、しかもその他の震えの原因が除外されない限り、その患者さんがパーキンソン病であると見なすべきではありません。

#### 2)パーキンソニズムの異なった原因を区別するため

特定の原因が見当たらない場合にのみ、その障害はパーキンソン病と呼ばれます。パーキンソニズムが明瞭な原因なしに現れる様々な障害は他にも存在しますが、これらの障害には通常、典型的なパーキンソン病とは明らかに異なる別の特徴があります。このような区別が重要なのは、原因が異なると長期的見通しや治療の選択肢も異なるからです。

3) 最適の治療が実施されることを保証するため

例えば、Sinemetなどの薬は本当に必要になるまで使用してはなりません。特に70歳以下の患者さんの場合、こうした薬を長期間使用すると、後になってコントロールが困難になり、病状管理が難しくなるかもしれないからです。他の薬（例えばPermax、Requip、Pramipexole、Parlodelなどのドーパミン作用薬）を使用すれば、後でそのような病状管理の問題が発生するリスクを回避しながら、Sinemetと同様な効果が得られるかもしれません。

4) 新しい療法が開発されるにつれ、そうした新療法が患者さんに提供されることを保証するため

医学は急速に進歩していて、専門家以外の人たちが医学分野の日進月歩に追いついて行くことは容易ではありません。

5) パーキンソン病に対する手術などの侵襲的治療は、それによって恩恵を受けると思われる患者さんにのみ実施されることを保証するため

6) 病状管理はコントロールが難しいため、問題が発生した場合にそれら进行处理するため

物理療法、職業療法、食事の宅配、訪問看護、言語療法など、必要に応じて適切な補助施設を利用することで、患者さんは家庭で最良の管理を行うことができます。

7) 患者さんが家庭で快適な生活を送り続けられるように、日常生活を補助するある種の器具を提供するため。これには例えば大きなハンドル付きのナイフ類、滑らないゴムマット、つかまることができる特別な手すり類の提供、その他の住宅改良などが含まれます。

*Copyright © 2005, The Regents of the University of California*